



1年の無火災を誓って

令和7年松前町消防出初式

「令和7年松前町消防出初式」は1月12日、松前公園体育館で行われ、消防団員などの消防関係者約120人が参加しました。

オープニングセレモニーでは、消防団岡田方面隊が、木やり唄を披露。木やり唄とは、機械がない時代に、人の力で重量物を運搬する際の号令の役目を担っていたものです。続いて行われた式典では、功績のあった団員の表彰が行われました。

参加した皆さんは、火災予防に対する意識を高めていました。被表彰者は次の通りです（敬称略）。



㊤ 岡田方面隊による木やり唄の披露

㊦ 表彰を受ける団員



▶知事表彰

< 個人表彰 >

本 団 副団長 川本 和孝

第2分団 副分団長 穴山 修三

▶愛媛県消防協会長表彰

< 功績章 >

第2分団 副分団長 穴山 修三

< 勤続章 >

(10年以上)

第6分団 副分団長 重松 正行

第8分団 団員 宮田 孝

第7分団 班長 仙波 一洋

第3分団 団員 武井譲太郎

< 規律章 >

第7分団 班長 篠原 知臣

第5分団 班長 池内 康彦

第3分団 班長 岩本 誠也

< 感謝状 家族内助の功労者 >

第6分団分団長夫人 三好 直美

▶自治体消防75周年記念表彰

< 消防団員家族表彰 >

第6分団 班長 日野 嘉人

第6分団 団員 日野 貴之

第6分団 団員 日野 雅文

本 団 団員 高森 由起

本 団 班長 中川久美子

本 団 班長 亀井 恵

本 団 団員 高森小百合

▶町長表彰

< 個人表彰 >

(消防団員歴2年以上)

第1分団 団員 萬奥 凌

第1分団 団員 阿部 貴樹

第1分団 団員 白石 吉幸

第2分団 団員 荻田 陽介

第2分団 団員 西村 良貴

第3分団 団員 中田 国彦

第3分団 団員 玉井 眞生

第7分団 団員 崎山 淳

第8分団 団員 三好 和樹

第9分団 団員 永井 開行

第9分団 団員 宮内 健志

< 優良分団表彰 >

(他の模範となる分団)

第2分団

第4分団

第7分団

▶松前町纏会長感謝状 第8分団



町内の2人に感謝状贈呈

伝統文化の継承活動に係る知事感謝状

「令和6年度県民総合文化祭子ども伝統文化フェスタ事業に係る知事感謝状」の贈呈式が12月1日、愛媛県県民文化会館で行われました。この感謝状は、子どもたちへの地域に根差した伝統文化の継承活動に関し、長年にわたって積極的に取り組んだ指導者に贈られるものです。

本町からは、平成25年から11年間、北伊予小学校茶道クラブで指導を行ってきた岡田文子さん(写真㊤)と、平成26年から岡田小学校で伊予万歳に関する授業の講師を務め、現在は同校伊予万歳クラブでの指導も行っている伊賀上利子さん(写真㊦)が感謝状の贈呈を受けました。





ようこそ、まさき町へ

まつまえ・まさき姉妹都市ふれあい交流事業

姉妹都市である北海道まつまえ町の児童6人が、ふれあい交流事業の一環として、12月26日から28日まで本町を訪れました。

夏にまつまえ町で交流を行っているまさき町の児童たちは、5カ月ぶりの再会に大喜び。初日は、松山空港で対面式を行った後、道後商店街や道後温泉別館飛鳥乃温泉を訪れ交流を深めました。

2日目は、松山城見学の後、伊予高等学校で同校の生徒が考案した特産の「はだか麦」を使ったおにぎらず、つまれスープ、キッシュを作りました。慣れない調理に四苦八苦した児童もいましたが、高校生に作り方を教わりながら完成させ、みんなで「はだか麦」を味わいました。その後は、伊予スミングクラブに移動して、はんぎり体験。最初は恐る恐るはんぎりに乗り込んでいた児童たちでしたが、すぐに乗りこなし、最後は田中町長とレースをして盛り上がりしました。

最終日は、砥部焼きの絵付け体験をした後、お別れとなる松山空港へ。3日間、松前町をはじめ、愛媛県の文化や食に触れ、かけがえのない体験をして友情を深めた児童たち。姿が見えなくなるまで手を振って、別れを惜しんでいました。

本年度の交流事業はこれで終了となりますが、1,500キロメートル離れた児童たちの交流は、これからも続いていきます。



1. まさきへようこそ！
2. 松山城で刀の重さ体験 3. 伊予高生と調理
4. はだか麦の食感に感動 5. 初めてのはんぎりに大盛り上がり 6. 白熱のレース 7. はんぎりを指導した田中町長と 8. 相談しながら絵付け体験



町内の2人が入賞

令和7年用愛媛県緑化キャンペーンコンクール

「令和7年用愛媛県緑化キャンペーンコンクール」が行われ、ポスターの部で右の2人の作品が特選と金賞に選ばれました。

特選の西原綾乃さんの作品は、令和7年用愛媛県緑化キャンペーンポスターとして採用される予定です。

▼ 特選



北伊予小3年
にしはらあやの
西原綾乃さん



▼ 金賞



北伊予小3年
きのした
木下 翠さん



まちの未来のため熱く語り合う

田中町長×サイボウズ(株) 青野代表取締役社長

田中町長と、ITツール(グループウェア製品)の開発・販売などを行っているサイボウズ株式会社の青野慶久代表取締役社長は1月6日、役場で対談を行いました。

対談テーマは、「自治体のDXと自治体経営・地方創生」。2人は自身の体験を交えながら、まちの資源やITツールを活用した地域活性化などについて意見を交わしました。田中町長は、「民間と力を合わせて地方創生を進めていきたい」と話していました。



書き初めで気持ちを新たに

書き初めを書こう会

「書き初めを書こう会」は12月26日、松前中学校で開催され、約100人の生徒が参加しました。

愛媛女流書家連盟会長藤岡抱玉さんやその門下生、松前小学校PTA書道サークルの皆さんの指導を受けながら、一筆一筆丁寧に新年の抱負を書いた生徒たち。何度も練習して、力作を仕上げていました。

参加した1年生の中林璃音さんは、「文字のバランスが難しかったけど、うまく書いて良かった」とほほ笑んでいました。



子どもたちのために役立てて

子どもたちへの寄付に対する感謝状贈呈式

地域の子どもたちへの寄付に対する「感謝状贈呈式」は12月26日、役場で行われ、町に寄付金を送った近藤清美さんに田中町長から感謝状が贈呈されました。

近藤さんは、「北伊予小学校と北伊予中学校の子どものために役立ててほしい」とほほ笑んでいました。

田中町長は、「両校の子どもたちのために大切に使用させていただきます」と話していました。



新春を祝って

令和7年新春年賀のつどい

「令和7年新春年賀のつどい」は1月6日、文化センターで開催され、約150人が参加しました。

年頭のあいさつで田中町長は、町制70周年を迎えるに当たり、「これからも町民の皆さんとの対話を大切にしながら、前へ前へと進んでいく。そんなまちを皆さんと築いていきたい」と抱負を語りました。

この後、参加者はあいさつを交わして新年を祝い、親睦を深めていました。